

## 第2章 障害福祉の状況

### 1. 中城村の人口と世帯

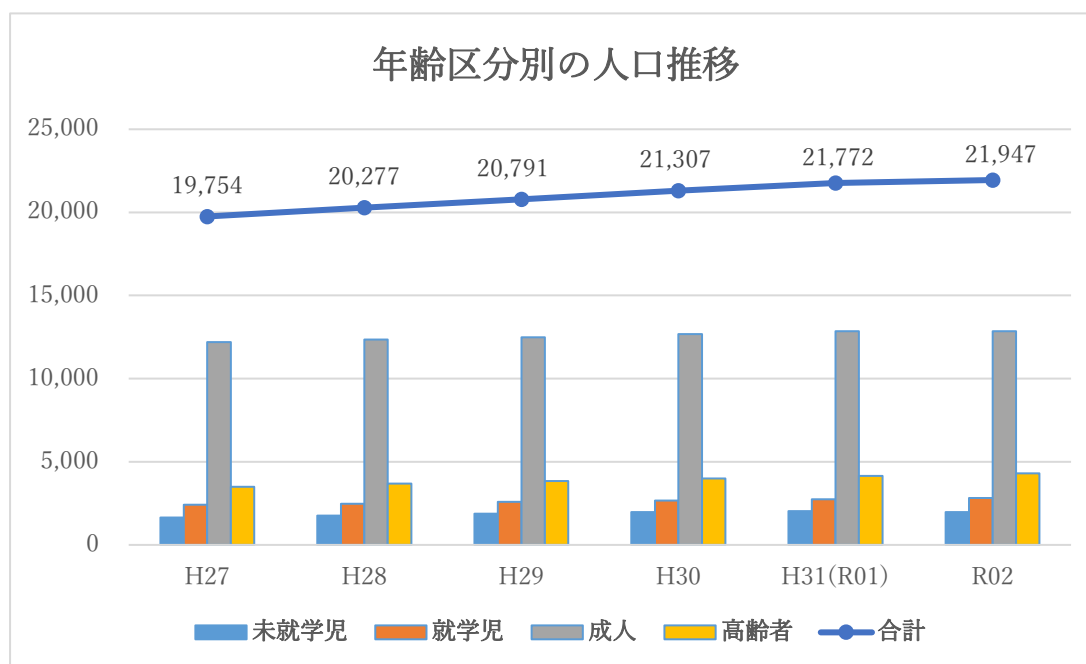
#### 1) 年齢区分別の人口推移

(単位:人)

年齢区分	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
未就学児	1,654	1,770	1,878	1,979	2,027	1,971
就学児	2,417	2,468	2,580	2,661	2,735	2,819
成人	12,193	12,360	12,488	12,671	12,855	12,860
高齢者	3,490	3,679	3,845	3,996	4,155	4,297
合計	19,754	20,277	20,791	21,307	21,772	21,947
高齢化率	17.67%	18.14%	18.49%	18.75%	19.08%	19.58%

資料:住民基本台帳 基準日:年度末現在

※未就学児:00-06歳 就学児(小学生~高校生):07-17歳 成人:18-64歳 高齢者:65歳以上



本村の総人口は、平成27年度末現在19,754人で、令和2年度末には21,947人となっており、平成27年度末から2,193人の人口増となっております。

年齢区分別で比較すると、未就学児と就学児の人口は、平成27年度末で4,071人、令和2年度末で4,790人となり、平成27年度末から719人の人口増となっております。18歳から64歳までの成人では、平成27年度末で12,193人、令和2年度末で12,860人となり、平成27年度末から667人の人口増となっております。65歳以上の高齢者人口は、平成27年度末で

3,490人、令和2年度末で4,297人となり、平成27年度末から807人の人口増となっております。高齢化率は、平成27年度末で17.67%、令和2年度末で19.58%となり、高齢化が進んでいる状況となります。

## 2) 行政区ごとの世帯数の推移

(単位:人)

行政区	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
伊集	297	300	298	308	314	326
和宇慶	285	290	296	295	306	303
南浜	75	76	77	77	81	77
北浜	194	194	197	194	201	208
津覇	425	429	445	451	457	464
奥間	305	309	314	313	314	324
浜	172	171	173	171	171	172
安里	149	152	158	159	152	157
当間	327	332	337	345	363	372
屋宜	272	287	301	306	307	315
添石	236	236	244	243	243	258
伊舎堂	242	250	248	266	280	283
泊	170	169	170	173	179	176
久場	530	533	543	555	592	616
登又	300	303	314	312	326	327
新垣	232	242	244	247	243	242
北上原	351	359	379	386	398	408
<b>南上原</b>	<b>2,890</b>	<b>3,113</b>	<b>3,268</b>	<b>3,467</b>	<b>3,672</b>	<b>3,768</b>
県営中城団地	88	86	94	95	94	94
中城サンヒルスタウン	170	183	191	190	195	202
県営中城第二団地	53	52	54	55	55	57
計	7,763	8,066	8,345	8,608	8,943	9,149
対前年世帯増加率	103.85	103.90	103.46	103.15	103.89	102.30

資料:住民基本台帳 基準日:年度末現在

世帯別での推移では、平成27年度末で7,763世帯、令和2年度末で9,149世帯となり、1,386世帯の増加となっております。行政区別では、南上原地区の世帯増加が顕著となっております。

## 2. 障害のある村民の状況

### 1) 障害手帳所持者の推移

(単位:人)

手帳種別 /等級別	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
<b>身体障害者手帳①</b>	<b>697</b>	<b>715</b>	<b>727</b>	<b>725</b>	<b>719</b>	<b>704</b>
対前年増加率	101.90	102.58	101.68	99.72	99.17	97.91
1級	244	249	257	275	266	267
2級	132	132	128	125	131	126
3級	128	136	139	130	133	128
4級	117	123	128	124	120	112
5級	25	27	26	25	24	25
6級	51	48	49	46	45	46
<b>療育手帳②</b>	<b>164</b>	<b>177</b>	<b>190</b>	<b>200</b>	<b>209</b>	<b>216</b>
対前年増加率	105.81	107.93	107.34	105.26	104.50	103.35
A1	12	13	14	15	15	17
A2	42	43	50	55	56	55
B1	37	38	39	45	48	56
B2	73	83	87	85	90	88
<b>精神保健福祉手帳③</b>	<b>175</b>	<b>187</b>	<b>201</b>	<b>197</b>	<b>229</b>	<b>219</b>
対前年増加率	97.77	106.86	107.49	98.01	116.24	95.63
1級	54	57	67	63	69	64
2級	92	99	107	99	126	126
3級	29	31	27	35	34	29
<b>合計(①+②+③)</b>	<b>1,036</b>	<b>1,079</b>	<b>1,118</b>	<b>1,122</b>	<b>1,157</b>	<b>1,139</b>
対前年増加率	101.77	104.15	103.61	100.36	103.12	98.44

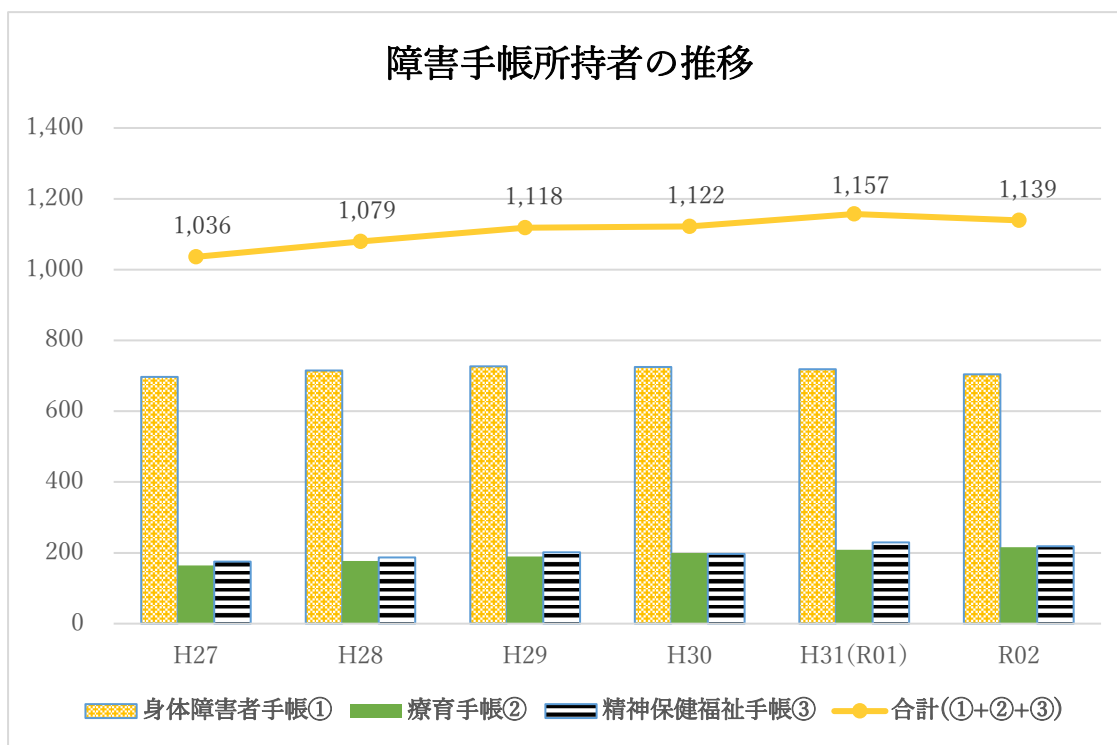
資料:手帳管理システム

障害者手帳所持者の推移については、3障害の手帳所持者は、平成27年度末で1,036人、令和2年度末で1,139人となっており、103人の増加となっております。

身体障害者手帳所持者は、平成27年度末で697人、令和2年度末で704人となっており、7人の増加となります。総合等級別では、平成27年度末と令和2年度末と比較すると、総合等級1級の方の増加が顕著(23人)となっております。

療育手帳所持者は、平成27年度末で164人、令和2年度末で216人となっており、52人の増加となります。等級別では、平成27年度末と令和2年度末と比較すると、A1(5人)、A2(7人)、B1(33人)、B2(15人)の増加であり、各等級とも増加傾向にあることがわかります。

精神保健福祉手帳所持者は、平成 27 年度末で 175 人、令和 2 年度末で 219 人となっており、44 人の増加となります。等級別では、平成 27 年度末と令和 2 年度末で比較すると、1 級(10 人)、2 級(34 人)の増加がみられます。



## 2) 障害者手帳の重複所持者の推移

(単位:人)

手帳種別 /重複取得別	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
身体+療育+精神	1	1	1	1	1	1
身体+療育	25	27	28	29	28	26
(再掲) 重度心身障害者	13	14	14	16	15	14
身体+精神	12	14	17	18	17	18
療育+精神	8	10	10	8	12	8
計	46	52	56	56	58	53

資料:手帳管理システム

※重度心身障害者 身体障害者手帳 1 級又は 2 級、及び、療育手帳 A1 又は A2

身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を複数所持している方の推移については、平成 27 年度末で 46 人、令和 2 年度末で 53 人となっており、7 人の増加がみられます。また、身体障害者手帳と精神保健福祉手帳の複数所持者については、平成 27 年度末と令和 2 年度末で比較すると、6 人の増加となっております。

### 3) 障害手帳所持者の年齢区分別の推移

(単位:人)

手帳種別/年齢区分別	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
身体障害者手帳①	697	715	727	725	719	704
未就学児	4	8	7	5	7	7
就学児	11	12	15	15	17	16
成人	240	247	234	226	233	220
高齢者	442	448	471	479	462	461
療育手帳②	164	177	190	200	209	216
未就学児	11	9	11	10	7	9
就学児	37	44	46	44	49	52
成人	107	114	120	132	139	141
高齢者	9	10	13	14	14	14
精神保健福祉手帳③	175	187	201	197	229	219
未就学児	0	0	0	0	0	0
就学児	0	2	4	4	6	5
成人	129	136	141	139	157	146
高齢者	46	49	56	54	66	68
合計(①+②+③)	1,036	1,079	1,118	1,122	1,157	1,139

資料:手帳管理システム

※未就学児:00-06歳 就学児(小学生~高校生):07-17歳 成人:18-64歳 高齢者:65歳以上

障害者手帳の年齢区分での推移では、年度の推移にて、各年齢区分における数値の変動がみられますが、障害手帳別では次のとおりとなっています。

身体障害者手帳所持者の平成27年度末と令和2年度末の比較では、成人では減少傾向が見られますが、その他の年齢区分では増加傾向がみられます。

療育手帳所持者では、平成27年度末と令和2年度末の比較では、未就学児では10人前後の横ばい傾向にありますが、就学児では15人の増、成人では34人の増、高齢者でも5人の増なっています。17歳以下では、就労支援に向けての特別支援学校在学中の取得がみられます。

精神保健福祉手帳所持者の多くは、18歳以上ですが、17歳以下では特別支援学校在学中に発達障害を理由とした手帳取得がみられます。高齢者においては、認知症を理由とした手帳取得も増加傾向にあります。

#### 4) 身体障害者手帳所持者の主たる障害区分別の推移

(単位:人)

身体障害者手帳の 主たる障害区分別	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
視覚障害	34	36	31	32	28	29
聴覚又は平衡機能 障害	87	85	87	85	86	85
音声機能、言語機能 又はそしゃく機能障害	5	7	6	5	5	4
肢体不自由	286	294	298	297	302	290
心臓機能障害	194	199	206	213	208	204
じん臓機能障害	60	59	63	62	61	61
その他の内部障害	31	35	36	31	29	31
計	697	715	727	725	719	704

資料:手帳管理システム

※肢体不自由:上肢機能障害、下肢機能障害、体幹機能障害、移動機能障害を含む。

※その他の内部障害:呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害を含む。

身体障害者手帳所持者の主たる障害区分での推移では、「肢体不自由」が最も多く、「聴覚又は平衡機能障害」、「心臓機能障害」、「じん臓機能障害」の順となっています。

5) 精神保健福祉手帳所持者の主たる疾病別の推移

(単位:人)

精神保健福祉手帳 の主たる疾病別	第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
	H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
アルツハイマー型認知症	3	7	7	4	6	7
脳血管性認知症	1	1	1	1	1	2
その他認知症	3	3	3	3	1	1
その他器質性精神障害	9	13	14	12	13	13
アルコール依存症	0	0	1	1	1	1
アルコール精神病	0	1	1	1	1	1
覚醒剤依存症	0	0	0	0	0	0
覚醒剤精神病	0	0	0	0	0	0
有機溶剤中毒(シンナー中毒)	0	0	0	0	0	0
その他中毒性精神病	0	0	0	0	0	0
<b>統合失調症圏の障害</b>	<b>91</b>	<b>92</b>	<b>94</b>	<b>82</b>	<b>95</b>	<b>89</b>
心因反応	0	0	0	0	0	0
非定型精神病	0	0	0	0	0	0
接枝分裂病	0	0	0	0	0	0
<b>気分(感情)障害</b>	<b>30</b>	<b>35</b>	<b>40</b>	<b>42</b>	<b>47</b>	<b>36</b>
神経症圏の障害	3	4	4	4	5	9
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0	0	0	0
人格障害	0	0	0	1	1	1
<b>知的障害</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
<b>心理的発達障害</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>13</b>
<b>小児青年期の行動情緒障害</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>5</b>
不明(年金証書など)	19	15	18	24	34	28
その他精神障害	1	1	0	0	0	0
てんかん	10	10	10	10	10	10
計	175	187	201	197	229	219

資料:手帳管理システム

精神保健福祉手帳所持者の主たる疾病別の推移では、「統合失調症圏の障害」が最も多く、「気分(感情)障害」の順となっています。

また、「アルツハイマー型認知症」を始めとする認知症関連疾患や「知的障害」「心理的発達障害」を理由とする手帳所持者も増加傾向がみられます。



### 3. 特別支援保育・特別支援教育の状況

#### 1) 村内保育所等における特別支援保育の状況

基準日：4月1日		第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
		H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
村 立 保 育 所	設 置 箇所数	1	1	1	1	1	1
	受 入 箇所数	1	1	1	1	1	1
	受 入 児童数	6	6	4	4	8	5
認 可 保 育 所	設 置 箇所数	5	6	8	10	11	13
	受 入 箇所数	2	2	3	4	6	7
	受 入 児童数	3	10	13	14	19	21
計	設 置 箇所数	6	7	9	11	12	14
	受 入 箇所数	3	3	4	5	7	8
	受 入 児童数	9	16	17	18	27	26

資料：こども課

村立保育所における特別支援保育の支援人数は各年度の変動はあるが、概ね5人程度の対象児を毎年受け入れしています。

また、村内の認可保育所の設置箇所の増加に伴い、受入可能な認可保育所も設置数の約5割に達しており、受入児童数は増加傾向にあります。

平成27年度の受入児童数9人に対し、令和2年度は26人となっていることから、約2.9倍の増加率となっています。

## 2) 村立小中学校における特別支援教育の現状

基準日:5月1日		第4期障害福祉計画			第5期障害福祉計画 第1期障害児福祉計画		
		H27	H28	H29	H30	H31(R01)	R02
小学校	支援学級数	6	6	7	8	10	10
	支援児童数	25	25	31	37	54	69
中学校	支援学級数	3	2	2	2	3	3
	支援児童数	12	11	11	12	15	20
計	支援学級数	9	8	9	10	13	13
	支援児童数	37	36	42	49	69	89

資料:教育委員会 学校基本調査

村立小中学校における特別支援教育の現状では、小学校、中学校ともに支援児童数は増加傾向にあります。

平成27年度の支援児童数37人に対し、令和2年度は89人となっていることから、約2.4倍の増加率となっています。